



林 声

2019

11

月号



高梁市備中町の森林は、地域住民の生活に密着した里山、林業生産活動が行われている人工林、さらには大径の広葉樹が林立する天然林など、多様な林分構成になっています。写真は、びほく森林組合天神支所の江草裕介（えぐさ ゆうすけ）さんと岡田誠矢（おかだ たかや）さんです。市の西部を中心に、人工林の整備だけでなく広葉樹の特殊伐採等を行い、地域の森林整備を担っています。（詳細はP 2に記載）

目 次

大切に育まれてきたおかやまの森・人の技が光る森（高梁市備中町の森林）	2	技能講習等情報	10
生き活き！林務の現場（浅口市産業振興課）	3	林産物市況	11
森林認証制度と木材利用推進	4	森林・林業施設の紹介	
普及指導区の情報（津山普及指導区）	5	（倉敷市船穂町ふれあいの森公園）	14
農林漁業功労者表彰	6		
ニューフェイスです！			
（一般社団法人 人杜守 松下茉央さん）	7		
研究だより（森林研究所林業研究室）	8		
おかやま森の応援スタッフ決定／21おかやま森林・林業ビジョン改訂(案)意見募集／トピックス	9		

【ほっけ～木になる情報】

Q. これから狩猟期を迎えますが、野山に入る場合は、何に気をつけたいですか？



©岡山県「ももっち」

大切に育まれてきたおかやまの森
 ☆人の技が光る森☆

高梁市備中町の森林

【高梁普及指導区】



一 地域の森林

岡山県の中西部に位置する高梁市。その中で旧備中町は、最西部の広島県境に隣接している地域です。

総面積1万haのうち約7割が森林で、森林の6割を天然広葉樹林が占めています。



天然林と人工林が混交する備中町の森林

今回、旧備中町の林業後継者である、びほく森林組合天神支所のフォレスター江草裕介さんにお話を聞きました。

二 技が光るフォレスター

江草さんは三代目の林家で、30ha程の人工林をお持ちです。

林業の世界の厳しさを感じていた家族の勧めもあって、一般企業に就職されていました。しかし、自分の山が気になることや「自然の中で働きたい」という思いが強くなり、当時の天神森林組合のフォレスターに転職されました。

その後、西粟倉村で木製品を取り扱う会社に転職されましたが、「やはり、山に帰りたい。現場がいい。」との思いから、再び、びほく森林組合天神支所のフォレスターになりました。

今は、以前天神森林組合でペアを組んでいたフォレスターの岡田誠矢さんと、事務の石原大地さん



左から江草さん、岡田さん、石原さん。お揃い「TENJIN」Tシャツが素敵です。

と、連携を取りながら、森林の整備をされています。

広葉樹の多い旧備中町なので、通常の人工林整備だけではなく、ロープワーク等を駆使した特殊伐採の仕事も多いそうです。

三 拡がる新たな出会い

「森づくり安全技術・技能全国推進会議（FLC）の研修に参加していたら、いつの間にか講師補助の役割をしていました。」と江草さん。そこで出会った講師の理論を学びながら、指導者として伝えることに力を入れておられます。

「伝え方ひとつで理解度も相手の受け止め方も全く違う。伝わりやすい指導方法と、科学的データ等に基づいた安全な伐採方法を岡山からも発信していきたい。」

また、就業希望者の受け皿になりU・イタシンの人に技術を身に付け、定着させてあげたい。」と、熱く語ってくれました。

また、江草さんは、山主と未来の木こりのための活動「をスローガンに、自己研鑽と切磋琢磨をしている林研グループ『岡山林業未来会』にも所属されています。

「今はSNSで誰もが繋がり情報交換ができる時代。個人でできる

ことは限られているが、意欲ある人たちと連携して、活動していきたい。」と、話されています。



伐根を見ながらツルの状況を確認中の江草さん

四 最後に

「色々なアイデアを取り入れ、備中町の森林をより魅力あるものにして、人が集まるような場所になれば楽しそう。」と目を輝かせる江草さん。

令和時代のフォレスターとして、新たな視点と技術をもって活躍される江草さんをこれからも応援しています。

当指導区でも、歴史ある森林をよりよい形で次の世代に引き継ぐためにも、森林整備への支援を行っていきます。

（高梁普及指導区 渡邊 亜矢子）

生き
活き！ 林務の現場

浅口市産業建設部
産業振興課
〔井笠普及指導区〕

岡山県の南西部に位置する井笠地域の森林は、スギ・ヒノキの人工林は約10%とわずかで、残りのほとんどがアカマツや広葉樹です。その森林の管理を担当する市町の林務を担当する部署が、地域の森林を守っています。

そこで今回は、県内で最も人工林率の低い浅口市で森林・林業に関する業務を行っている部署の仕事を紹介します。

一 産業振興課

遙照山系からの湧水でつくられる鴨方の手延べ素麺、森林から供給される栄養で育った寄島の牡蠣など、浅口市の産業にとっても森林はとても大切なものです。

そんな浅口市の市役所で森林・林業の業務を担っているのが産業振興課です。

課名が表すとおり産業全般を担当しており、農林水産業や商工業はもちろん、観光まで幅広い業務を行っています。

二 職員自らが森林の現況調査

今年の4月から動き出した森林経営管理制度では、市町村が主体となって、森林の現況を調査し、森林所有者に森林管理の意向調査をします。県内の多くの市町村では、この業務を外部に委託することとしています。浅口市では、職員自らが行うことにしました。

9月下旬に、寄島にあるヒノキの人工林の現況を林業普及指導員と一緒に調査しました。森林簿では、人工林となっていました。現地に行ってみると広葉樹が混じっている場所や既に竹林になっている場所もあり、当分の間は、手入れが必要な森林はないと判断しました。

林業の専門職員がいないので、



職員による森林調査

わからないことが多いのですが、研修会などに参加して知識を増やしながら、市民のために頑張っています。

三 鳥獣被害対策



イノシシ捕獲マップ

浅口市においてもイノシシによる農作物などの被害は深刻です。そのため、総合的な被害対策に取り組んでいます。その一つとして、「イノシシ捕獲マップ」を作成し、市のHPで公表しています。これにより、農家だけでなく、教育機関や都市部の住民にも注意喚起が図られ、農作物の被害対策だけでなく、市民の安全な暮らしに役立っています。

四 市民参加による森づくり

浅口市では、松くい虫被害などで荒廃した森林の整備に力を入れ

ています。澄んだ水や豊かな海を育むためには、森林の有する公益的機能を維持することが大切なことから、市町村提案型森づくり事業を活用して、市民団体による里山保全活動を支援しています。担当者も、時には、活動中の現地に赴き、活動の様子の確認や安全作業の喚起も行っています。

五 その他の業務

産業振興課で最も力を入れているのが、国立天文台を活用した「天文のまち あさくち」の観光振興です。

普段は、研究者しか使用することができない188cm反射天体望遠鏡を使った夜間限定観望会は、一般の方が巨大望遠鏡を体験できる唯一のチャンスだそうです。

六 おわりに

県南の森林の少ない市町村では、林務の仕事は、ウエイトが低いように思われがちです。しかし、森林は、浅口市の地域産業を支える大切なものであることから、産業振興課が中心となって守り育てています。

(井笠普及指導区 三宅 美裕)

森林認証制度と 木材利用推進について

一 森林認証制度とは

森林認証制度とは、独立した第三者機関によって作成された基準に基づき、森林の適正な管理を審査・認証し、そこから生産された木材製品等にラベルを付けることにより、消費者の選択的な購買を支援する制度です。

二 岡山県の取組

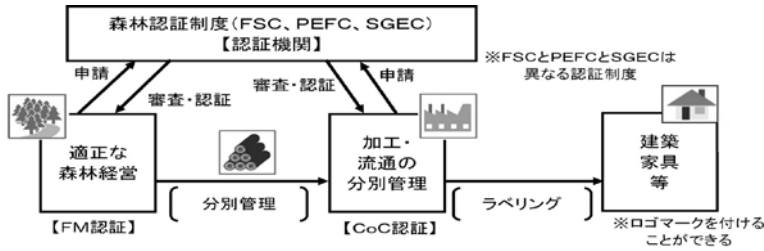
岡山県森林認証・認証材普及促進協議会を中心に、FM認証の取得を促進し、森林経営計画が策定された森林において、19者・団体、約9万鈔の森林がFM認証を取得しています。本県の認証森林面積は、全国でも上位に位置し、大きな強みとなっています。

また、COC認証については、製材工場等11者・団体が取得しています。

三 木材利用推進について

県では、県産材を使用した住宅を建築する施工業者を対象に補助を行っています。今年度から新たに、県内のFM認証森林の原木から製材・加工した県産乾燥材を使用した住宅を補助対象に追加しています。

手村ビレッジプラザの建築材料に、持続可能性に配慮した木材として、県産森林認証材を提供しています。大会終了後、返却された木材は、レガシーとして県内の公共施設においてベンチなどに加工して再利用する計画です。



FM認証	C o C 認証
責任ある森林管理のために一定の基準をクリアした林業経営・森林管理に与えられる認証 Forest Management (森林管理)	各流通の過程で、非認証製品が誤って混入することを防ぐために、加工業者や流通業者が取得する認証 Chain of Custody (管理連鎖)



分別・表示管理されたFM認証材



適正に管理されたFM認証森林



森林認証材から製材された認証製品



森林認証材で建築中の木造住宅

四 終わりに

今後、認証取得の支援を通じて、森林認証材の供給体制を構築するとともに、森林認証材の利用拡大を促進し、森林所有者と素材生産から製品の加工・流通に至るまでの関係者が認証の合意形成を行い、持続可能な森林経営が図られることとで、更なる県産材の需要拡大につながるものと期待しています。

(林政課 林業木材班)

普及指導区の情報

鏡野町森林づくり

協議会の活動

【津山普及指導区】

一 はじめに

鏡野町は平成17年3月に4町村が合併し、岡山県内の町としては最大の面積を誇る「鏡野町」となりました。総面積42千haに占める森林面積は36千haと総面積の86%を占め、そのうちスギ・ヒノキを主体とした人工林は26千haで72%と高く、豊かな自然環境と人工林を含む里山の景観はまちのシンボルにもなっています。

しかし、鏡野町においても、木材価格の低迷による木材生産の減少、森林所有者の世代交代等による経営意欲の低下や所有者不明森林の増加、担い手不足といった多くの課題に直面しています。

こうした中、この森林をどのように守り、育て、次世代に繋いでいくかを協議し、林業に関する施策展開を検討するための組織として森林組合、林業グループ、篤林家、キノコ栽培者、建築業者、区長会

代表、町会議員、町職員、津山普及指導区の地区主任及び鏡野町担当の2名を含む17名で平成27年に設立された鏡野町森林づくり協議会の活動をご紹介します。

二 鏡野町森林づくり条例の策定

この条例は、本協議会において豊かな森林の保全及び創造に寄与することを目的に素案をまとめたもので、「森林は町民の宝として、守っていつて欲しい。」とのメッセージと共に町長へ提出し、平成28年に岡山県内の市町村で最初に森林に関する条例として施行されました。

三 鏡野町森林づくりセンターの開所

鏡野町森林づくりセンターは、住民の森林に関する総合的な窓口として、本年8月5日に、中国地方初の市町村による森林経営管理法を推進するための組織として開所しました。開所に至った経緯は、本年4月1日よりスタートした森林経営管理制度を踏まえ、放置森林の解消を促進し、次世代へ鏡野町の豊かな森林を継承していくため、本協議会において設立に向け

た議論を重ね、町長へ提言を行い、実現したものです。

本センターは、施業地へのアクセスが良い旧奥津町に設置し、林務担当の町職員2名、内1名は林野庁からの出向者と、林業に高い知識・専門性を有する地域林政アドバイザー1名、地域林業に精通し、林業技術を有する森林組合職員1名の計4名体制で、町内のさまざまな森林・林業に関する問題、課題の解決に向け、当センターが中心となって取り組んでいくこととしております。

森林経営管理法や森林環境譲与税についての情報提供などについては、林業普及指導員が積極的に関わってきました。

四 人材の育成に向けた取組

現在、協議会では、本町の林業の基盤は出来ていることから、今後、持続的な林業生産活動を行うには人材の育成が最も重要な課題であるとの認識から協議を重ねており、年内に研修制度や定住のための助成制度について対策案を取りまとめ、町長への提言を行い、令和2年度からの事業化を目指しています。



協議会の開催状況

五 終わりに

本協議会では、広範囲な課題に対し、意見が交わされており、当普及指導区も、引き続き積極的に関わっていききたいと考えています。

(津山普及指導区 大西 俊和)



森林づくりセンターの開所式

**第52回岡山県農林漁業功労者
表彰受賞者の紹介**

林業・木材産業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお喜び申し上げます。(敬称略)

《農林水産部長表彰【林業部門】》

○石原 正基 (鏡野町)

昭和31年から60年以上の長きにわたり、家業である林業に従事され、収入間伐を繰り返し実施する長伐期施業を基本に、枝打ちの実施による優良材生産に取り組み、優良材展示コンクールで優秀な成績を収められています。

昭和53年から昭和57年まで県の指導林家として、枝打ちなど林業



石原 正基さん

技術の普及啓発に取り組み、地域の優良材生産に尽力されました。

平成11年には、所有山林から生産した木材で住居を新築した経験を生かし、我が家の木で家を建てることを林家に推奨し、地域材を使用した木造住宅の普及促進にも貢献されました。

また、平成17年から奥津林業研究会の副会長に就任され、施業技術の勉強会や先進地視察を行うなど、地域林業の活性化のリーダーとして活躍されています。

○山崎 登 (鏡野町)

バックホウやグラップル等の林業機械を導入して省力化を図りながら素材生産を行うとともに、周辺山林の所有者から作業を請け負って搬出間伐を一体的に実施し、所有者への収益還元を行うなど、地域における林業生産活動の担い手として活躍されています。

また、枝打ちの徹底と収入間伐を繰り返し行う大径材生産に取り組み、優良材展示コンクールで優秀な成績を収められています。

平成8年から平成20年まで富林業研究クラブ(当時)の会長に就任した際は、植栽した苗木の被害



山崎 登さん

対策を推進するとともに、みどりの少年隊等を対象とした林業体験を開催するなど、地域と一体となった活動に尽力されました。

また、平成23年から県指導林家として、平成26年からは県農業者(林業士)の認定も受けられ、森林整備の必要性や施業方法の普及啓発を行うなど、地域林業の振興に尽力されています。

《農林水産部長表彰

【団体指導者部門】》

○難波 泰彦 (岡山市)

平成10年から岡山木材協同組合の理事、平成23年から同組合の副理事長を務め、通算21年の長きにわたり木材業界の発展に貢献されています。

全国中小企業団体中央会等による講習会への参加や各種研修会を企画立案し、経営知識の習得や県産材利用住宅の普及を強く呼び掛けるなど、組合員の資質向上に努められました。

また、平成10年から平成27年まで岡山県木材仲買協同組合の理事に就任した際は、仕入れ先の視察による商品の厳選と販売促進に努めるなど、購買事業に多大な功績がありました。

平成25年から岡山県木材組合連合会の理事に就任し、組織運営に取り組むほか、県産木材フェアの開催等に積極的に協力・参加するなど、木材需要拡大に尽力されています。



難波 泰彦さん

(林政課 林業木材班)

ニューフェイスです

一般社団法人 人杜守 ひとともり

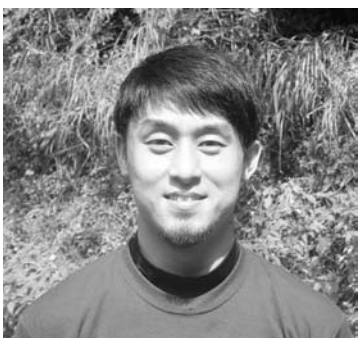
松下 まつした 菜央さん (23歳) まお

【新見普及指導区】

今回は、新見市に活動の拠点を置く、一般社団法人 人杜守に勤める松下菜央さんをご紹介します。

松下さんは、平成31年4月に採用され、林業の経験はアルバイトの期間を含めても1年ほどのニューフェイスです。

取材は、作業中の現場に伺い、いろいろとお話をいただきました。



人杜守 松下 菜央さん

一 経歴

松下さんは、大阪府大阪市の出身で、中学・高校・大学ではラグビー部に所属し、体を鍛えてきたかなりの体力の持ち主です。

子供の頃には、トラック運転手の格好良さに憧れていたとのことでしたが、大学在学中に現在勤務している人杜守が主催する森林ボランティアに参加し、この活動を支える人々の魅力や林業の奥深さに惹かれ、大学卒業と同時に新見市で暮らし、林業を行うことを選択されました。

二 現在の暮らし

現在の住まいは、新見市神郷高瀬地内で、古民家を現代の暮らしに合うようにリフォームした一戸建ての住宅です。これまで生活していた大阪市での暮らしと比較すると、コンビニエンスストアまでの距離が遠いことなどで買い物に多少の不便さはあるものの、林業への就業とセットで考えていた田舎暮らしの選択には迷いはなかったとのこと。

三 林業への思い

現在は、主にチェーンソーによる伐倒や林内作業車による運材を担当されています。これまでの伐木造材作業において、ヒヤリ・ハツトの場面にも遭遇したとのこと、各種作業に係る安全な基本動作を大切にされています。



林内作業車で運材中の松下菜央さん

学生時代に参加した森林ボランティアでは、実際に間伐作業を経験し、林業で必要となる木を伐る技術の習得に加えて、関係者の方々への挨拶や感謝の心を持つことの大切さを学んだとのこと。

入社前は、林業について暗いイメージを持ち、何をやっても赤字になってしまいう儲からない産業と感じていたものの、入社後の作業を通して、やり方によっては高額の高性能林業機械に頼ることなく、儲けることができる産業であることを実感されたそうです。

四 林業の難しさ

現場の経験を積み重ね、伐木造材に係る技術が向上していることは感じながらも、作業前に行う森

林の調査において、作業道の線形や集材の方法、間伐後の仕上がりなど、山づくりに対して幅広くイメージすることはまだ難しく、この知識や技術を身につけることが今後の課題であると語られました。

五 今後の抱負

高性能林業機械で作業をしたいという思いを持ちつつも、小型で価格を抑えた林業機械を上手く活用した作業で、森林所有者へ利益を還元しながら、山の価値を高めることができる林業のプロを目指していきたいとのこと。

将来的には、自分が培った技術を次の世代に伝え、百年先を見据えた山づくりに生かしてもらいたいと、後継者の育成に対しても熱い思いを持たれています。

六 終わりに

人杜守では、間伐等の森林整備以外にも、森林ボランティア活動の支援、薪の生産による広葉樹の利用促進など、幅広く事業を展開されています。今後とも各種の取組を支援していくとともに、松下さんのさらなる成長と活躍を期待しています。

(新見普及指導区 山本 克美)

新たな早生樹種の検討

—モミジバフウについて—

一 はじめに

近年、短伐期で収穫可能な造林種の登場が期待されています。この中でセンダンやコウヨウザンなどの早生樹については、既に各研究機関によって調査や情報交換が活発に行われています。

当森林研究所でも、造林樹種の選択肢を広げることが目的として、新たな早生樹種の検討に取り組んでいます。そこで今回、所内に生育するモミジバフウについて、成長量と形状の観点から、早生樹としての可能性を検討したので、その内容を紹介します。

二 モミジバフウの概要

モミジバフウはフウ科フウ属の落葉広葉樹です。アメリカ原産で、日本には昭和30年代頃から導入されました。幹が通直で成長が早く、紅葉も美しいため、これまで街路樹や庭園樹として植栽されました。用途は、合板や家具、枕木、パルプ材等とされています。

三 モミジバフウの成長量

所内に生育するモミジバフウは、大部分が昭和60年頃に植栽された(樹齢35年生の) 1個体で、平均胸高直径は約50cm、平均樹高は約22mでした。また、樹幹解析の結果から、年肥大成長量は約1.5cm、年樹高伸長量は10年生までは約0.9m、その後は概ね0.5mであることが分かりました。そして、基部直径5cm以上の枝条部を含めた単木材積を調べたところ、25年生で1立方mに達することが示唆され、45年生で1立方mに達する県内のスギ(地位1、密度階級1における推定値)と比較しても、成長が非常に早いことが分かりました。また、早生樹とされる所内ユリノキの推定データ(地位中々上)と比較しても遜色なく、成長量に関しては、早生樹として期待できると考えられます。

四 モミジバフウの形状

単木材積(主幹部及び枝条部)のうち、主幹部が占める材積の割合は約70%でした。県北に出現する他の広葉樹と比較しても、主幹部の比率が非常に小さいことが分かりました(表1)。さらに、主幹部の形状は、樹高の3分の1程度から上部への細

りが非常に大きく、典型的なウラゴケの傾向がみられました(図1)。樹高が同程度である樹齢45年生の県内スギと対比しても、極端な円錐型であることが分かりました。これらより、枝条部を利用しない用途での採材及び大きい長級での採材を行う場合には、ロスが大きくなる形状であると考えられます。

表1 主幹部及び枝条部の材積比率の一覧

樹種	比率 (%)	
	主幹部	枝条部
クリ	93	7
ユリノキ	85	15
ホオノキ	85	15
アベマキ	81	19
コナラ	73	27
モミジバフウ	70	30
ソヨゴ	64	36

注1. モミジバフウを除く広葉樹については、県北における調査データ(西山 2016; 西山・阿部 2017)から編纂した

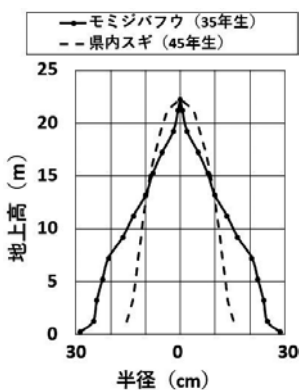


図1 モミジバフウの細り

五 おわりに

伐倒した個体から採取し、乾燥させた木片の辺材部は淡橙色、心材部

は紅褐色を呈しました。スギやヒノキ、センダンなどと比較しても、辺材部の白さが非常に印象的でした。そのため、主幹部については、材質に関する試験等を行い、辺材の白さを活かすことができる用途を検討することが今後の課題と言えます。一方で枝条部については、材積比率が大きいことから、有効活用できるように利用法を検討する必要があります。

今回はモミジバフウについて紹介しましたが、本県に適した早生樹を見いだすためには、今後他の樹種についても調査を行い、比較及び検討を行うことが重要です。



所内モミジバフウの生育状況及び葉の写真

(森林研究所林業研究室)

技師 新原 一海



現地研修（間伐現場）

「おかやま森の
応援スタッフ」が
決定しました！

「おかやま森の大使」に代わり森林・林業のPRを図るイベント等へ派遣することを目的に募集していた「おかやま森の応援スタッフ」に6名が登録されました。

写真は9月30日の現地研修の様子です。1日かけて間伐現場や木材共販所・製材工場を見学して、岡山の森林・林業について学習しました。

活動の内容や派遣の手続きなどは、これまでの「おかやま森の大使」と同様です。異なる点は、

- ① 最多で6名まで派遣可能なこと
 - ② 男女6名の中から都合のつく方が派遣されること
 - ③ 制服は無いので服装を指示していただく必要があること（たすきは着用します）
- です。任期は、応援スタッフによって異なり、2～5年間で、活動開始は令和元年10月1日です。

メンバーは、写真右から順に

- 大山 恭子さん 自営業
- 長畑 健三さん 自営業
- 石谷 愛理さん 大学生
- 板坂 琴音さん 大学生
- 田畑 明日香さん 大学生
- 長尾 龍希さん 大学生

以上の6名です。

なお、イベント等への派遣要請など活動についてのお問い合わせは、林業改良普及協会事務局（県林政課内）までお願いいたします。

☎（086）226-7451

（岡山県林業改良普及協会事務局）

「21おかやま森林・林業ビジョン
改訂（案）」への意見を募集

岡山県では、森林・林業のあるべき姿や施策の基本方針等を盛り込んだ「21おかやま森林・林業ビジョン」の計画期間が今年度で終了することから、改訂のための必要な見直しを進めてきました。

このたび、改訂（案）をまとめましたので、次のおり皆様のご意見、ご提言を募集しています。

詳細は林政課HPで紹介中。

<http://www.pref.okayama.jp/page/635731.html>

1 募集期間

令和元年12月15日（日）まで

2 提出方法

次のいずれかの方法で所定の様式によりご意見等をお寄せ下さい。

- (1) 郵便 〒700-8570
岡山市北区内山下2-4-6
岡山県林政課森林企画班あて
- (2) ファクシミリ
086-221-6498
- (3) 電子メール
rinsei@pref.okayama.lg.jp
- (4) インターネット
林政課HPに入力フォームを記載しています。

（林政課 森林企画班）

トピックス

岡本信和氏（元県木材協同組合
連合会長）が「旭日小綬章」を受賞

元県木材協同組合連合会長

岡本信和氏（75）が、秋の叙勲で「旭日小綬章」を受賞されました。

岡本さんは、昭和48年から木材

卸業に従事し、木材製品の安定供給に努めてきました。

また、平成5年から岡山県木材協同組合連合会の理事、平成17年から25年までは副会長、平成25年から令和元年まで会長を務め、通算26年の長きにわたり木材業界の発展に貢献されています。

なお、授賞式は12月13日に執り行われます。

心からお喜び申し上げます。

西山特別研究員が

「森林技術賞」を受賞

農林水産総合センター森林研究所の西山特別研究員が「第64回森林技術賞」を受賞されました。

この賞は、日本森林技術協会が、毎年度、森林技術向上に貢献があったものに対して行っている表彰で、同氏の「スギ・ヒノキ人工林における森林管理技術の確立とその普及」に関する永年の取組が広く認められたものであります。

今後ますますのご活躍を期待します。

技能講習会の開催 (12月~2月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	1月23、24日	一般社団法人 岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡山	12月5、6日、1月16、17日	
	津山	2月25、26日	
フォークリフト運転	岡山	12月4日、1月10日、2月12日	陸上貨物運送業労働災害防止協会 岡山支部 TEL (086) 234-1332
はい作業主任者	岡山	2月5、6日	
	倉敷	11月13、14日	
不整地運搬車	岡山	12月15、16日、1月13、14日	キャタピラー教習所(株) 岡山教習センター TEL (086) 272-0001
刈払 (安全衛生教育)	津山	2月27日	一般社団法人 岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571
林業架線作業主任者(免許)	兵庫	12月10日	近畿安全衛生技術センター TEL (079) 438-8481

伐木等の業務 (大径木) 特別教育修了者を対象とした補講

会場：高梁総合文化会館

定員60人

会場：岡山県労働基準協会新見支部

定員40人

開 催 日	時間 (講習時間：3時間)	
12月4、5日	1回目	2回目
	9:30~12:30	13:30~16:30

開 催 日	時間 (講習時間：3時間)	
12月10、11日	1回目	2回目
	9:00~12:00	13:30~16:30

※受講履歴等の問合せ先：岡山県労働基準協会 講習担当 TEL 086-221-2160

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST
INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約2千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 27,444 円 (5年間計)

樹 種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 43,325 円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



林産物市況



木 材 (10月29日)

・出荷量 約1,620m³

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直 材	小曲り	概 況
杉	3 m	14~16	10.5	-	杉概況
		18~20	11	-	【3 m】
		22~28	11	-	柱 材 保合い
	4 m	18~22	10	-	中目材 保合い
		24~28	10	-	【4 m】
		16~18	13	-	中目材 保合い
桧	3 m	14~16	23.5	18	元 木 強含み
		18~20	20	18	
		22cm上	20	17.5	桧概況
	4 m	14~18	23.5	20	【3 m、4 m】
		20~22	18	17	柱 材 強含み
		24~28	18	17	元 木 強含み
		30cm上	18	17	【3 m】
	6 m	16	25	18	中目材 強気配
		18~20	32	26	松概況
		18~22	10	8	保合い
松	3 m	18~22	10	8	
	4 m	18~22	11	8	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

乾しいたけ (10月29日)

・出品数量 0.7 t
 ・価格高値 4,490円
 ・総平均 3,447円

品 柄	価 格		相場
	平均	高値	
香 信 大	-	-	-
香 信 中	3,883	4,490	◎
香 信 小	3,283	4,090	◎
小 間	-	-	-
香 信 山 成	3,690	3,690	◎
バ レ 大	3,579	3,650	◎
バ レ 中	3,500	3,790	◎
ス ラ イ ス	3,221	3,270	◎
花 どん こ	-	-	-
上 どん こ	3,946	4,000	◎
並 どん こ	2,898	3,310	△
並並どんこ	2,500	2,500	□
小玉どんこ	2,907	3,010	□
山成どんこ	-	-	-
こ う こ	3,258	3,510	□
格 外	2,370	2,500	□

価格：円/kg (相場) 強：◎ 保合：○ 弱保合：□ 弱：△

＜概況＞
 今回は例年と比べ少ない数量となったが、全国的に価格が上昇傾向にある中、岡山県でも平均価格が3,400円台まで上がり、平成29年秋市並みに回復している。特に良質なものが多かった。香信中葉と上どんこは、平均価格が4,000円台に近づく勢いで、買い気が強く“岡山県産”の乾椎茸は依然として需要があることが感じられた。

資料：岡山県森林組合連合会椎茸共販所

製 材 (10月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値 ~ 高値 (円/m ³)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	65,000~68,000 (無背割)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	60,000~65,000
マ ツ	平角 4 m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	56,000~58,000
	平角 3 m、4 m 10.5×15~21cm	特等	G	58,000~60,000
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	70,000~75,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	60,000~

注1：価格は、岡山県内の市場等の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

皆伐・再造林促進支援事業のご案内 岡山県森林組合連合会 **JForest**

「伐って・使って・植えて・育てる」 ～林業経営を応援します～



再造林費についてはha当り上限10万円、
下刈り費は上限5万円を5年間助成します。
詳細につきましては、当連合会各支所又は
最寄りの森林組合へご相談ください。

(※森林組合の連絡先等は
岡山県森連ホームページにあります。)



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>



「緑の募金」 ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町 1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

ほつけー木になる情報

A. 11月15日～翌年2月15日（イノシシ、ニホンジカは3月15日、ツキノワグマは12月14日）までが狩猟期間です。

ハイキングなどで野山に入る場合は、目立つ衣服を着用し、ラジコを流すなどして、自分の存在を知らせるよう心がけてください。

わなやその標識を見つけた場合は、獲物がかかっていることやわなが地中に埋設されていることがあり、大変危険ですので絶対に近づかないでください。

狩猟に関するお問い合わせは、県民局森林企画課または、県庁鳥獣害対策室へお尋ねください。

（農林水産部鳥獣害対策室）



（箱わな）

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお持ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内

電話086-226-7451

または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所木材加工研究室内

電話0867-44-3367

編集後記

●今年こそと思ったものの残り僅かな日数となってしまった令和元年です。

◆今年が亥年、田んぼや畑をイノシシが走り回り、育てた稲や野菜が荒らされてしまいました。

全国で災害も多く発生した年でした。来年は平穏な年になること祈りましょ。

(S)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

安全・人と自然・調和

造林木を野生動物の食害から守る

- 〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤
- 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
- 〔樹皮食い防止に〕 バークガード
- 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
- 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
- 〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤

（お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ）

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819

林声

令和元年十一月一日（第四六八号）
（隔月一日発行）



園内の様子

森林・林業施設等の紹介

「倉敷市船穂町ふれあいの森公園」

倉敷市船穂町ふれあいの森公園は、人と自然とのふれあいの場をコンセプトとして、平成11年3月に現在の倉敷市船穂町水江地区に整備されました。

平成29年度～30年度には、おみやま森づくり県民税を財源とした公共空間木質化促進支援事業を活用して、木製展望台等の施設修繕を図りました。

地域の憩いの場として、多くの方が訪れる、高梁川沿いにある愛宕山に広がる自然豊かな公園です。



木製テーブル、ベンチ



木製展望台

園内には、クロガネモチなどの実のなる木を植栽したバードウォッチングを楽しめるエリア、春には花見を楽しめるエリア等を配置し、緑と小鳥を気軽に親しむことができます。

また、遊歩道を散策して、季節によって装いを変える公園を楽しむことができます。

（倉敷普及指導区）

編集発行
〒700-8570 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六

おかやまの木で家づくり支援事業

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）



詳細は
コチラ

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)

TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製 造 森産業株式会社
総 発 売 元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。